

災害から 命を守る

■問い合わせ先 役場地域協働課 ☎963-1734 (直)

近年台風は大型のまま日本に接近または上陸し、大きな被害をもたらしています。昨年の台風14号は、玄界灘から直接福岡県に上陸し、過去に例がないルートをたどり町に接近しました。また、同じ場所に長時間降り続く雨による災害が日本各地で発生しており、平成29年の九州北部豪雨や、令和2年の熊本県球磨川流域での災害では多くの尊い人命が失われました。

いざというときにあわてず行動ができるように、避難場所や避難経路、非常持出品などを事前に確認し、日ごろから備えておきましょう。

安全に避難するために

差し迫る災害から安全に避難するためには、正確な情報の把握と早急な避難が何よりも重要です。町や気象庁などから発表される情報を把握し、逃げ遅れることがないように、警戒レベル4「避難指示」までに必ず避難を終えましょう。

🔊 警戒レベル3「高齢者等避難」

避難に時間がかかる高齢者や障がいのある人は危険な場所から避難しましょう。高齢者や障がいのある人以外の人も、避難の準備を開始しましょう。

🔊 警戒レベル4「避難指示」

危険な場所から全員避難しましょう。

🔊 警戒レベル5「緊急安全確保」

すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。直ちに安全確保の行動をとりましょう。「緊急安全確保」の発令を待つてはいけません！



▲地域協働課 森防災専門官

「私は大丈夫」と言い切れませんか。地震や風水害などの自然災害はなくすことはできません。しかし、災害を予防し、被害を小さくすることや少なくすることはできます。そのために「早めの避難」「備災・備蓄」を行きましょう。

もうすぐ雨の季節がやってきます。自分自身や家族、周辺の人を守るため、いま一度考えてみましょう。

地元の自主防災組織に協力しましょう。自主防災組織がまだ設立されていないところは、みなさんの協力により設立しましょう。

防災情報を収集しましょう

災害時には、今のような危険が差し迫り、どのような行動をしなければならないかをいち早く知ることが重要です。災害が発生するおそれの高まりの程度に応じて、町の防災行政無線などから避難に関する情報が発表されます。

災害が発生した場合、町の防災行政無線から音声放送をします。災害などの情報は、電子メールなどからも受け取ることができます。

①防災行政無線電話応答サービス ☎0800-200-8123 (通話無料)

「放送の内容が聞き取れなかった」「もう一度聞きたい」場合に利用してください。

②登録制メール専用ホームページ <http://bousai-shingu.jp/mail/mobile>

県が提供する防災情報などのメール配信システムです。県内の地震、津波、台風、大雨などの防災気象情報や避難情報などを受信できます。



登録制メール専用▲
ホームページ

③防災メール・まもるくん

【登録方法】

○空メールを送信

mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp

○ホームページから登録

<http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/>



④防災専用 SNS アカウント

○Twitter アカウント

@shingu_bousai

○Facebook アカウント

@shingu.bousai

※町役場からの情報配信 (投稿) のみ行います。

※閲覧者からの投稿に返信・回答は行いません。

テレビ (データ放送) からの 情報も活用しましょう!

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの「d」ボタンを押すことで、天気予報や災害に関する情報を確認することができます。データ放送を配信しています。

NHK や民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。

「流域治水」の取り組みを本格的にスタート!

県では、近年の気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、流域全体で水災害を軽減させる「流域治水」を推進しています。

本年3月に、県内二級水系において、これまでの河川整備に加え、水田やグラウンドなどに雨水を貯留・浸透させ、河川への流出を抑制するための対策など、流域治水の取り組みの全体像を示した「流域治水プロジェクト」を公表しました。

今後、このプロジェクトに基づき、流域内のあらゆる関係者と一体となって総力戦で流域治水を強力に推進し、防災・減災・国土強靱化 (災害に強い国づくり) に取り組みます。

「流域治水」に関するホームページを開設しています。



福岡県流域治水プロジェクト

検索